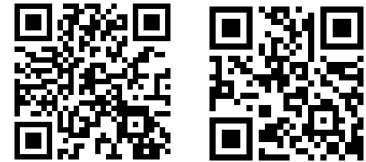


地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第220号



2025年2月28日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

ホームページ メール

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



## かがみ田苑労組 のたたかい続報

かがみ田苑労組のたたかいは困難を極め、組合員はそれぞれ4月からの職場探しに奔走しなければならず、組合としての活動は1月末で終了いたしました。本日の評議員会には、岩永委員長が参加し、皆さんからの支援に、お礼を述べられます。

その後のたたかいとしては、2/26に日本共産党市議団が代表質問の中でかがみ田苑の問題に触れ、県医労連からの動員で、傍聴席はいっぱいになりました。

2月以降、横三労連は、民生局長宛ての質問状を送り、1度目の回答は全くの無内容だったため、再度詳細な質問を送り、本日がその回答期限となっております。

横三労連は、引き続き民生局長宛ての質問を繰り返し、2度とこのような不正が行われぬよう、最後まで追及していきます。

## 横三労連旗開きに28名参加！

1/17(金)、産業交流プラザで、旗開きを開催し、28名が参加しました。

昨年に続き、「いやしんす」のお二人の演奏で開幕した旗開きでは、秋本副委員長の開会挨拶、神奈川労連・県労働センター・日本共産党県議市議の来賓挨拶のあと乾杯し、各組合からの決意表明が行われました。年金者組合からの、年金裁判の訴えには、4,380円のカンパが寄せられ

ました。

注目のかがみ田苑労組からは、内田副委員長を始め、3人の執行委員が参加し、引き続き支援の訴えがありました

3/1に新病院への移転を控えた、うわまち病院からも、2名の参加があり、新病院の状況の報告もありました。

恒例となった、1年間の活動の写真上映も、今年はたっぷり時間をとって行う事ができました。

## ノーベル平和賞祝う会に32名！

2/24(月・休)、横須賀原水協主催で「被団協のノーベル平和賞受賞を祝う会～なぎさ会の皆さんを囲んで～」が産業交流プラザで開催され、32名が参加しました。

なぎさ会の3人の他、チラシを見て、2歳で被爆の方が飛び入りで参加、広島での母親の被爆体験を読み上げました。その内容は、被爆直後の原爆ドームの状況など、初めて聞く内容が含まれていました。会には子どもたち5人も参加しました。

